

▼ 講義確認テスト（科目修了試験含む）の刷新

講義確認テストをより効果的なものにするため、内容を一部改訂いたします。

【主な変更点】

- テスト全体の文章表現を統一し、読みやすさを向上します。
- 曖昧な表現の設問や選択肢をより具体的かつ分かりやすく改善します。

▼ 講義・演習等のアップデートおよび追加

2025 年度の研修内容は以下のアップデートおよび追加がございます。

【アップデート】

担当講師はそのまま研修内容等を最新にアップデートする研修と、担当講師を変更して研修内容を最新にアップデートする研修がございます（変更後の担当講師は 2025 年度版のシラバスをご確認ください）。

※いずれも研修名に変更はなく、地方厚生局に届出は不要です。

共通科目

科目	学ぶべき事項		研修	通番
臨床推論	4.各種臨床検査の理論と演習	心電図（1）	講義	55
		心電図（2）	講義	56
	5.画像検査の理論と演習	放射線の影響（1）	講義	64
		放射線の影響（2）	講義	65
		単純エックス線検査／CT	講義	66
		超音波検査・MRI・核医学検査	講義	67
		CT／その他の画像検査	講義	68
		画像検査の演習	演習	69
臨床薬理学	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習／3.主要薬物の相互作用の理論と演習	呼吸器系（1）気管支喘息治療薬①	講義	136
		呼吸器系（2）気管支喘息治療薬②	講義	137
		呼吸器系（3）慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療薬	講義	138
		呼吸器系（4）咳嗽に使用される薬剤	講義	139
		呼吸器系 演習	演習	140
		内分泌・代謝系（3）脂質異常症の薬物療法	講義	148
		内分泌・代謝系 演習	演習	149
フィジカルアセスメント	2.部位別身体診察手技と所見の理論	腹部	講義	89
	4.状況に応じた身体診察	在宅医療（1）在宅医療の諸相（導入期、維持期、急性期、看取り期）とそれぞれのフィジカルアセスメント	講義	112
		在宅医療（2）医療依存度の高い在宅医療におけるフィジカルアセスメント	講義	113
		在宅医療（3）認知症など介護・ケア中心の在宅医療でのフィジカルアセスメント	講義	114

科目	学ぶべき事項		研修	通番
疾病・臨床病態概論	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	その他：悪性腫瘍（1）	講義	185
		その他：悪性腫瘍（2）	講義	186
		その他：脳血管障害	講義	187
		その他：急性心筋梗塞	講義	188
	1.救急医療の臨床診断・治療の特性と演習	特性（1）	講義	196
医療安全学／特定行為実践	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（IPW）（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ			
	④多職種協働の課題	多職種との円滑な協働のためのマネジメント	講義	222
	5.特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ			
	① 特定行為実践に必要な知識・技能・態度		講義	238
	②特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ	特定行為実践課程の構造（1）	講義	239
	②特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ	特定行為実践課程の演習（1）	演習	241
		特定行為実践課程の演習（2）	演習	242
	③特定行為実践のアウトカム	特定行為研修修了後の実践成果の検討	講義	243
		特定行為実践のアウトカムの演習（1）	演習	244
		特定行為実践のアウトカムの演習（2）	演習	245

区分別科目

科目	学ぶべき事項		研修	通番
創傷管理関連	(A) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	DESIGN-R に準拠した壊死組織の除去の判断	講義	19
感染に係る薬剤投与関連	(A) 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）：肺炎	演習	26
		病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）：尿路感染症	演習	27
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	(A) 抗けいれん剤の臨時的投与	けいれんの原因・病態生理、症状・診断（1）	講義	15
		抗けいれん剤の種類と臨床薬理、適応と使用方法、副作用、投与の判断基準、投与のリスク（有害事象とその対策等）（1）	講義	17
		病態に応じた抗けいれん剤の投与の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）（1）	演習	19

領域別パッケージ

科目	学ぶべき事項		研修	通番
在宅・慢性期領域	創傷管理関連			
	(A) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	DESIGN-R に準拠した壊死組織の除去の判断	講義	11-19
救急	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連			
	(A) 抗けいれん剤の臨時的投与	けいれんの原因・病態生理、症状・診断（1）	講義	20-15
		抗けいれん剤の種類と臨床薬理、適応と使用方法、副作用、投与の判断基準、投与のリスク（有害事象とその対策等）（1）	講義	20-17
		病態に応じた抗けいれん剤の投与の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）（1）	演習	20-19
外科系基本	創傷管理関連			
	(A) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	DESIGN-R に準拠した壊死組織の除去の判断	講義	11-19
	感染に係る薬剤投与関連			
	(A) 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）：肺炎	演習	16-26
		病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）：尿路感染症	演習	16-27

【追加】

2025 年 4 月 1 日より、区分別科目「透析管理関連」に、CHDF に関して回路選択や回収、回路組み立て操作、アラーム対応の具体的な方法等の研修内容として、講義 1 コマ、演習 1 コマを追加します。

ご留意点

区分別科目「透析管理関連」を選択されていて様式 2 の作成が必要な場合、以下までご連絡をお願いいたします。

<お問合せ先>

ヴェクソンインターナショナル株式会社

TEL : 0120-128-774 / E-mail : support@s-que.net

区分別科目

科目	学ぶべき事項	研修	旧	新	備考
透析管理関連	急性血液浄化療法に関する局所解剖	講義	5	5	
	急性血液浄化療法を要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント (1)	講義	6	6	
	急性血液浄化療法を要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント (2)	講義	7	7	
	急性血液浄化療法を要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント (3)	講義	8	8	
	急性血液浄化療法を要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント (4)	講義	-	9	新規追加
	急性血液浄化療法における透析の目的、係る透析の適応と禁忌、伴うリスク (有害事象とその対策等)	講義	9	10	通番変更
	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理の判断基準 (ペーパーシミュレーション)	演習	10	11	通番変更
	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理の判断基準 (ペーパーシミュレーション) (2)	演習	-	12	新規追加
	手順書作成	演習	11	13	通番変更